

笑顔のために

富士宮市議会5月臨時会・6月定例会
年4回発行

令和2年9月1日発行

議会だより

No.418



松田清子さん



稲葉あき子さん



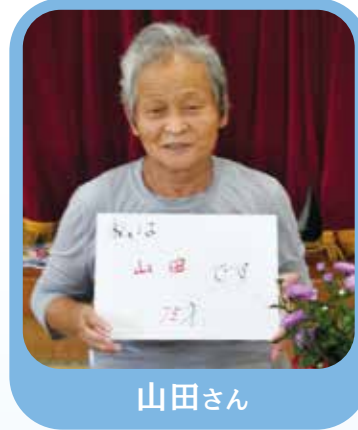
小野田さん



佐野政子さん



高橋さん



山田さん



山田勝治さん



内田兼義さん



望月次郎さん

いつまでも健康に
過ごせるまち

ふじのみや

撮影は、グループホームいっしょに暮らそうと富士山シニアクラブ富士宮三園平ひまわり会の皆さんにご協力いただきました。

目次

- 市の目玉事業 ～追跡調査と先駆調査～… 2, 3
- 5月臨時会/6月定例会の議決結果… 4
- 知ってほしい議決結果 …… 5
- 常任委員会の活動報告 …… 6
- 一般質問 (18人) …… 7～15
- 今後の定例会開催予定/議員表彰/
議会をネットで見よう など …… 16



小中学生に聴く ～学校エアコン設置の効果～



市内全ての公立小・中学校にエアコンが設置されました。
 今回、議員がエアコン設置事業の事後検証を兼ねて、児童生徒や教員の皆さんにお話しを伺いましたので、その結果をご紹介します。

お聞きした内容	回答結果
エアコンが教室に整備されて良かった？	はい 98.9% いいえ 1.1%
これまで以上に授業に集中できていますか？	はい 96.0% いいえ 4.0%
学校では使用上のルールが守られていますか？	はい 95.6% いいえ 4.4%

自由記述でいただいた主な意見

- ・ 南の窓側やエアコンの下は風がこないので暑い。
- ・ 体育館に設置して欲しい。
- ・ 廊下側はエアコンの風も扇風機の風もくるので寒い。
- ・ 常に稼働して欲しい。
- ・ 使用開始の気温が28度では暑い。
- ・ 先生によって基準が異なるのを直して欲しい。
- ・ 教室の中で涼しい所と暑い所の偏りがある。
- ・ 体育の後は汗で体が冷えるので30分は使用をやめて欲しい。



など



プレミアム付商品券（元気わく湧くーポン）使ってみました！



※商品券の使用期限は、10月31日までです。

富士宮市プレミアム付商品券（元気わく湧くーポン）とは、地域経済の活性化を目的に、コロナ禍の市内事業者支援を行う事業です。10000円で15000円分の商品券を購入し、市内加盟店で買い物が出来ます。当事業は4月臨時議会で審議可決され、富士宮市はいち早く予算化し、他の自治体からも注目されました。8月3日の発売当日は行列ができるほどで、事業者にとっても大変心待ちにしていた事業でした。

街中でこの商品券について聞いてきました。

加盟店の方からは、「初来店のお客さんやコロナ禍で来店を控えていたお客さんが来てくれるようになり感謝しかない！」との声を、市民からは、「買い物、食事をするのが、富士宮市の元気につながると思うとうれしい！」との声をお聞きする一方、「1000円券はおつりが出ないので500円券もほしい。」というお声もありました。

先が見えないコロナ禍ですが、地域の強さや人を思う気持ち、助け合いの精神が満載な「元気わく湧くーポン」お得に利用して、富士宮市を元気にしましょう。



▲中華料理ふくじんさんのご夫婦



議員の視点

取材した当日はちょうど個人面談の日でした。保護者様もエアコンが整備されたことを喜んでいたとのことでした。

児童生徒の意見から多く聞かれた、教室内の室温の偏りは、各教室に設置されている扇風機の位置を変えらることにより改善が可能なのではと思いました。



▲富丘小学校教室



▲第四中学校教室

アンケートにご協力いただきました富丘小学校の6年生(130人)、富士宮第四中学校の3年生(149人)の皆さんありがとうございました。

この結果は教育委員会に提出し今後の検討に役立てていただきます。



E-BIKE (イーバイク) って何??



E-BIKE観光振興事業とは、富士宮市が取り組む新しい観光事業のことで、朝霧高原地区でE-BIKEと呼ばれる、電動アシスト自転車を貸し出し、周辺の観光地や自然豊かな朝霧高原を回遊していただくものです。

富士宮市議会では令和2年2月定例会で、この事業を含む予算を審議可決しました。7月24日(金)に朝霧フードパーク内で令和2年度の重点施策であるE-BIKEのお披露目と試乗会がありました。

議員も田貫湖や朝霧キャンプ場など各地に分散してE-BIKEに乗り、若手もベテラン議員もゴール(朝霧フードパーク)を目指して試乗しました。電動アシスト機能により上り坂もとてもスムーズに軽やかな走行で、朝霧高原の風景を楽しみながら風を切って走ることができました。試乗中、交差点や歩道の継ぎ目の舗装の痛み等、普段車では気がつかない改善箇所もあり、今後の修繕に向けて担当課に繋がります。

E-BIKEは朝霧地区で50台用意されています。市民の皆さんも気軽に非日常が楽しめるミニマムツーリズム(近隣で楽しむ観光)として是非1度乗ってみてください。

今まで車で走行することしかなかった地域を風や空気を感じながら走ることは気持ちいいですし、市の新たな魅力を再発見できること間違いなしです。



▲朝霧高原でE-BIKE 試乗



5月臨時会・6月定例会 議決結果

5月 臨時会 議案審議

5月18日開会
以下の議案を議決しました。

議案番号	件名	議決結果
報 第 13 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報 第 14 号	富士宮市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認全会一致
報 第 15 号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報 第 16 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	//
議 第 43 号	富士宮市新型コロナウイルス感染症対策基金条例制定について	原案可決全会一致
議 第 44 号	富士宮市特別職の職員で常勤のものの給料の特例に関する条例制定について	//
議 第 45 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第3号）	//
議 決 第 3 号	富士宮市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例制定について	//
議 選 第 1 号	議会運営委員会委員の選任について	決定全会一致

6月 定例会 議案審議

6月23日開会～7月9日閉会
以下の議案を議決しました。

議案番号	件名	議決結果
議 選 第 2 号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決 定
報 第 17 号	令和元年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告 済
報 第 18 号	令和元年度富士宮市一般会計事故繰越し繰越計算書について	//
報 第 19 号	令和元年度富士宮市水道事業会計予算繰越計算書について	//
議 第 46 号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議 第 47 号	富士宮市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 48 号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 49 号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 50 号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 51 号	富士宮市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 52 号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 53 号	白糸会館建設工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議 第 54 号	財産の取得について	//
議 第 55 号	市道路線の廃止について	//
議 第 56 号	市道路線の認定について	//
議 第 57 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第4号）	//
議 第 58 号	令和2年度富士宮市水道事業会計補正予算（第1号）	//
議 第 59 号	令和2年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第1号）	//
議 第 60 号	令和2年度富士宮市病院事業会計補正予算（第1号）	//
議 第 61 号	財産の取得について	//
議 第 62 号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第5号）	//
諮 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意

※報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、
議決＝議会からの議案、議選＝議会で行う選挙や人事案件、
諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者 の略称。
（番号は2月定例会からの通し番号です。）

※詳しくは、市議会事務局までお問い合わせください

▶ 第6方面隊第27分団（芝川地域）消防団初の水槽付き消防ポンプ自動車と同型の車両



議会の視点はこうです！

新型コロナに備えて条例と補正予算で対応！

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、市議会5月臨時会、6月定例会では、収入の減少や離職された方々などへの様々な対応について、質疑を交わし、議会も必要であるとの判断のもと、以下、すべての施策を含む予算を可決しました。

1. 市税（固定資産税等）・都市計画税などの減額措置
2. 離職・収入減の方への家賃補助
3. オンライン授業へ向けての生徒1人1台端末整備
4. 特別給付金・子育て世帯への特別給付金支給
5. 新型コロナ対策予算確保に充てて欲しいとの思いから議員、市長、副市長及び教育長の報酬・給与の減額
6. 新型コロナウイルス感染症患者に対応した市立病院職員、消防職員等への手当創設
7. 新型コロナウイルス感染症対策にと寄せられた寄附のための基金創設
8. 緊急時の市役所職員分散勤務のための設備
9. 観光誘客、経済活動のために観光協会が実施するプレミアム付観光クーポン事業への補助
10. イベント中止等した事業者に対する入場料金等の払戻請求権を放棄した場合の寄附金控除

また、新型コロナウイルス感染症の影響で機材・資材等の輸送に遅れが生じ、令和元年度内に完了できなかった工事等があることに伴い、市の会計約3億1800万円を次年度に繰り越すことについても議会は了承しました。

令和3年度から全てのひとり親世帯が税控除の対象になります

今まで未婚のひとり親世帯は、税控除の対象となっていませんでしたが、税法改正により令和3年度の市県民税からは、婚姻歴の有無や性別に関わらず対象となります。

税控除が受けられる条件としては、ひとり親の合計所得金額が500万円以下であることや被扶養者の所得制限等があります。

議会としては、全てのひとり親世帯に対して公平な税制が担保されたと考えています。

【議選第1号】議会運営委員会委員の選任と委員長（佐野和彦議員）のコメント

6月定例会は、臨時議会を含めコロナ禍での4回目の議会で、今回からマスクの他フェイスシールドも着用可とし、発言しやすいよう配慮しました。

また、一般質問日程を会期後半にしましたが課題もあり難しさを感じています。今後は、災害時や感染症等の非常事態に対応できるよう、早急に議会BCP（事業継続計画）の策定に取り組んでいきます。



左から、植松健一委員、望月則男委員、若林志津子委員、◎佐野和彦委員長、村瀬旬委員、遠藤英明委員、○深澤竜介副委員長
※齋藤和文委員は都合により欠席



【ポイント】

議会運営委員会とは、議会の運営に関する事項や、議会の条例・規則に関する事項等を担当（協議）するための議員のみで構成される組織です。
なお、委員会時、“議員”は“委員”と呼ばれます。



⇒議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織。富士宮市議会には、3つの常任委員会が組織されており、全て議員のみで構成されています。

総務文教委員会

所管事務調査内容

- 自治会の現状について
- 富士宮市の公共交通の確保について（政策課題）

【松永 孝男 委員長 コメント】

自治会の現状については、令和元年度に行われた自治会アンケート調査結果により、自治会の抱える問題点や現状について説明を受けました。

富士宮市の公共交通の確保については、「宮タク」の利用状況の説明を受けました。高齢化や過疎化の進む中で安心安全な地域づくりのための自治会のあり方や、周辺地域の皆様の生活の足として誰もが利用しやすい宮タクを目指して検討を進めます。



▲会議室で協議する委員会の様子

環境厚生委員会

所管事務調査内容

- 富士宮市が目指す地域循環共生圏について（政策課題）
- 新型コロナウイルス感染症に係る放課後児童クラブの対応について

【中村 憲一 委員長 コメント】

地域の特性に応じて地域資源を活かした自立分散型社会を形成し、近隣地域と補完し支え合う地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業は、令和2年度も元年度に引き続き、環境整備を継続する活動団体として本市が環境省から選定されました。令和2年度の主な取組として、ESG金融^(※)と連携したビジネス的支援がありません。

また、新型コロナウイルス感染症対策による学校休業に伴い、放課後児童クラブで3密が避けられない状況が発生したとの認識から現地調査を行いました。利用自粛の要請等、ソフト的な対応で3密を回避したとのことでしたが、ハード的には施設のみでの運用では大変厳しい状況です。教育委員会と連携し学校施設の活用も検討することについて、改めて課題が抽出されました。

※ ESG金融とは、企業分析・評価を行ううえで長期的な視点を重視し、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）情報を考慮した投融資行動をとることを求める取り組み。

産業都市委員会

所管事務調査内容

- 市営大岩住宅・市営粟倉住宅の現状について
- 新型コロナウイルスの産業への影響について
- 滞在型観光について（政策課題）

【植松 健一 委員長 コメント】

市営大岩住宅・市営粟倉住宅の現状について現地調査を行いました。大岩住宅は築54年、粟倉住宅は築47年が経過しており、市営住宅長寿命化計画のうえで検討の必要性を確認しました。

次に、新型コロナウイルスの産業への影響について、現時点での影響を確認し、委員会からの要望について話し合いました。

滞在型観光については感染症対策にも適応しやすいアウトドア観光の推進を図って行くということで意見が一致しました。



▲市営大岩住宅の現地調査



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男 議員
(富岳会)

公共料金のキャッシュレス決済について

問 感染症対策の観点からも、市立病院のクレジットカード決済以外にキャッシュレス決済を導入できないか伺う。

部長 世の中の流れがキャッシュレスの方向に動くことは、もう止められないと思うし、止める必要もないと思う。一番の行政としての問題は、口座振替という手数料が安価なものが、キャッシュレス決済になる事で、より多くの税金を使い各民間事業者手数料を支払う形となること。その流れは止まらないとは思いますが、果たして、公金の使い方として良いのかどうか、市民サービスの向上と抱き合わせて検討せざるを得ないと思う。

富士宮市指定のごみ袋について

問 市指定ごみの袋価格決定方法について伺う。

部長 ごみ袋の指定に関する要領に基づいて民間事業者が製造する承認制度となっており、値段は承認を受けた事業者が決定している。

問 収集カレンダーに指定のごみ袋を使ってくださいという一文があるが、実態は透明の袋は収集し、色のついた袋は収集しないということで、透明の袋で収集してくれるのであれば、透明の袋が良いのではないかと。特に値段設定する主体が市にないので、市民サービスを考えた場合、透明のごみ袋が一番安く、指定のごみ袋を使うのであれば、その明確な基準があるのか伺う。

部長 集積所が混乱するため、極力集められるもの、中身が確認できるものについては収集しているのが現状。市のごみであることを識別するためということと、富士市は可燃ごみと資源ごみを分けているが、富士宮市もいずれはそうしていく可能性もあるため、市民に対して決められたごみ袋に分別して入れるという意識を浸透させるという面もある。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

新型コロナウイルス感染症第2波への備えについて①介護保険事業

問 通所系サービスに休業要請が出たときの代替サービス検討について伺う。

部長 介護保険事業者連絡協議会役員と、事業所や市でできることを協議している。

問 施設オンライン面会を後押しする施策は。

部長 県の補助金（地域医療介護総合確保基金）に業務改善のためのタブレット端末等購入費用の一部を助成するものがある。利用周知を啓発。

新型コロナウイルス感染症第2波への備えについて②自粛生活

問 クラウドファンディング^{※1}を活用した社会的役割創出の取組の必要性について。富士宮やきそばで官民連携を図ることについて。

部長 クラウドファンディングの目的と行政目的

が一致する事業であれば、資金調達の仕組みで市民の生活不安を解消すべく研究したい。

問 休校中の課題から得た成果について。

教育長 各家庭の協力により、教科書を活用した予習的な学習を行ったことが挙げられる。

コロナが与えた社会的影響を、良い方向に仕向ける施策、反転攻勢の意識について考える

問 移住定住ポータルサイトをコロナ禍ならではのものに変更する考えはあるか。

部長 ポータルサイト内にオンライン移住相談窓口を掲載していく。レポート型交流資源の磨き上げによる富士宮Life実現事業も推進。

問 コロナ禍のマイクロツーリズム^{※2}市場を狙った時の富士宮観光の魅力は何か。

部長 市の自然を満喫するE-BIKE事業を推進。

問 キャンプ、アウトドアの付加価値は川遊び、マス釣りを提案するがいかがか。

部長 当市はニジマス生産量日本一。そういった意味でも、安全に遊ぶことを検証しながら川遊びやマス釣りを推奨すべきと思う。

※1…クラウドファンディングとは、インターネットを通じて不特定多数の人に事業の趣旨とその資金提供を呼び掛け、賛同者から資金を集めること。

※2…マイクロツーリズムとは、3密を回避し自宅の近場で観光し地元の魅力を再発見する旅行のこと。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



まつなが たかお
松永 孝男 議員
(富岳会)

新型コロナウイルス感染症に対する対策について

問 家賃補助など今後の助成制度を伺う。

部長 国はテナント事業者に家賃支援給付金を予定しているが、現時点で期間や条件等詳細は示されてない。公表され次第早急に周知する。

問 給付金は所得税の課税対象になるのか。

部長 中小規模事業者等に支給される持続化給付金、休業補償、雇用調整助成金は、収入補償や賃金など支出の補填であり課税対象となる。個人や世帯に対する定額給付金や子育て世帯への臨時給付金等は家計支援であり非課税。

問 密を避ける生活スタイルは都会からの移住促進の追い風と考えるが、新たな取組は。

部長 移住につながる関係人口の増加を目指した取組を進める。キャンプ場などで仕事と休暇を両立するワーケーション*が注目されている。富士

山を望む豊かな自然の中でテレワークができる環境整備を進めていく。

問 感染防止の観点から、キャッシュレス決済促進助成金の新設と「富士宮キャッシュレスタウン構想」を提案するがいかがか。

部長 国が非接触型のキャッシュレス決済端末の導入に対する補助金を設定している。従って市独自の助成金は考えていない。

市長 これからはキャッシュレスの時代だと認識している。ウィズコロナ、アフターコロナの動きの中で国の動向などを注視し、時代に対応できるように研究していく。

*ワーケーションとは、観光地などで休暇をとりながらテレワークする働き方のこと。



の もと たかゆき
野本 貴之 議員
(芙蓉)

夏季期間のマスク着脱指導と熱中症対策を！

問 猛暑など夏季期間中の小・中学生のマスク着脱の対応について伺う。

教育長 国の指針では、熱中症等の健康被害が発生する可能性があるとは判断した場合は、マスクを着用する必要はないとある。熱中症への対応を優先させることや暑さで息苦しいと感じたときに、子ども自身が適切に対応できるように学校教育課から丁寧に指導していく。

不登校の児童生徒にオンライン授業の活用を！

問 オンライン授業の導入と対応を伺う。

教育長 オンラインを活用した授業が始められるように研修している。臨時休業が続く場合には実施していくことも考えている。

問 不登校や長期療養の児童生徒へのオンラインの授業の活用は。出席として認められないのか。

教育長 教師との対面指導や児童生徒同士の交流活動が十分にできないという問題もある。国の通知で出席とする要件は、対面指導が適切に行われること、校長が保護者などを含めた連絡会を実施して状況を十分に把握することとあり、家庭のみの視聴は出席と認められない。今考えているのは、例えば保健室とか学校内の別室でオンラインの授業に参加するなら出席扱いにできるので、対応ができるようならしていきたいと考えている。

市独自の犯罪被害者等支援条例の制定を！

問 犯罪被害者等支援条例の制定を目指す考えはあるのか。制定に向けて関係機関や団体と連携をどのように取り組んでいくのか。

部長 市は犯罪被害者の方への支援の必要性を認識している。令和2年度は庁内、警察、関係機関、近隣市町との調整を図り、令和3年度に条例を制定できるように取り組んでいく。

その他の質問

コロナ禍における災害時の対応と支援の在り方について(指定避難所、福祉避難所運営指針の見直し等)



ほそざわ
細沢

さとし
覚 議員
(政経会)

新型コロナウイルス感染症による小・中学校の今後の学習指導について

問 ①体育実技、水泳授業について、年間指導計画を変更して行うとしているが、どのように変更するか伺う。 ②運動会や修学旅行など、どのようにするか伺う。 ③教員免許状の有効期限は最長2年延長が認められるが、それに伴う援助を考えているか伺う。

教育長 ①新型コロナウイルス感染症の拡大や熱中症が懸念される時期の運動について、年間指導計画の中で順序を入れ替える等の工夫をするよう、各小中学校に依頼している。水難事故未然防止のため、水泳の事故防止に関する心得や中学校保健分野にある応急手当については取り扱うよう依頼している。 ②運動会については、3密が重なることが無いよう実施内容や方法を工夫する。

修学旅行は、市内全ての小中学校が9月以降に延期して実施する方向。 ③令和2年度末に免許更新の期限を迎える教職員は55人。教育委員会ではゆとりをもって受講するよう周知。現段階で、ほとんどの教職員が受講済みのため延長に伴う援助は考えていない。

市内活性化のための大会、合宿誘致について

問 市内を活性化するために、体育館施設、グラウンド等の開放、早い時期から県内外からの宿泊を伴う大会、合宿ができるよう誘致を考えているか伺う。また、市内宿泊施設への補助等を考えているか伺う。

部長 現在、静岡県でも市町と連携してスポーツ合宿誘致の取組を進めているため、これに積極的に参加して誘致活動することを考えている。宿泊施設への補助は考えていないが、スポーツ合宿を受け入れる側として、行政だけでなく、観光協会、旅館料理組合、スポーツ協会等と官民連携で挑む体制をつくり、いろいろなアイデアを出し、取り組んで行きたいと思う。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
(政経会)

新型コロナウイルス感染症に伴う対応と対策について

問 各事業者からの要望と支援策について伺う。いろいろな団体から要望書が出ているがその中で、本当にせっぱ詰まっている業種は何か、感じたことはあるか。

部長 各団体からのご要望は、本当に全てせっぱ詰まっていると感じた。例えば理美容や写真事業者については、本当に申し訳ございませんが、休業補償の対象にならないということでご理解をいただいた。

問 今後の財政運営の見通しについて伺う。令和2年度の全事業を精査し、重要度、緊急性が低い事業を延期、中止する考えはないか。

部長 財政当局だけでお答えできない問題だと認識している。不要不急というか、コロナの関係

で、当初予算に措置していたもので不要となったものについては、9月議会で予算編成する際に精査し、不要なものは減額補正する考え。具体的に何をというのは、これから市長をはじめ各担当部局との相談ということになる。

問 特別定額給付金におけるマイナンバーカード活用状況について。

部長 本人確認情報のチェックに、マイナンバーカードの搭載情報が活用されている。これによる申請数は、7月3日現在、約1700件。

河川の管理について

問 潤井川の川底と中州の土砂堆積が見受けられるが、県等への要望について伺う。

部長 市内を流下する潤井川を含む23の県管理河川では、毎年、県と当市で合同の河川パトロールを出水期前に実施し、土砂の堆積状況、占用工作物の点検、河川区域内の立ち木等の状況を確認。富士市と当市で組織する富士治山治水期成同盟会では、富士山麓における河川改善等の整備の推進について要望を行っている。



うえまつ けんいち
植松 健一 議員
(芙蓉)

感染症の検査場、専門病棟について

問 今後、感染症についての検査場、専門病棟を常設する必要性についての考えは。

部長 新たな感染症が発生した場合は感染症法に基づき国が指定する感染症指定医療機関において適切に検査を行うことが基本で、今のところ検査場を常設していく予定はない。

病院長 今回の新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内及び富士医療圏の陽性患者の増加に伴い、感染症指定医療機関だけでは受け入れができない状況になったため、必要性に迫られて独立した病棟を改修整備して設置しているもので、第2波、第3波においてもまず感染症指定医療機関で患者受け入れを行い、感染拡大の兆候が現れた時点で当市立病院において感染症対策病棟として機能を復活させることが当院の役割であり、常設

は考えていない。

複合災害を考えた備蓄について

問 新型コロナウイルス感染症も含めた複合災害を考えた、今後の備蓄についてどのようにしていくのか。

部長 マスクを想定避難者の1週間分として17万5000枚を5年間で備蓄する計画で、そのほか感染症対策に関わる備蓄としてテント86張り、段ボール製間仕切り300セット、ビニール製使い捨て手袋9000枚、フェイスシールド500枚など確保している。

災害時避難の在り方の再考について

問 これまで集合避難が原則であった災害時避難を再考する必要があるのでは。

部長 避難所の限られたスペースでは3密の状態になる可能性があり、感染症の感染リスクが高まる。自身と自宅の安全が確保できる場合には在宅避難を含む分散避難など適切な避難行動をとっていただく必要がある。区民館や指定場所以外の公共施設の活用も検討している。



こまつ かいぞう
小松 快造 議員
(富岳会)

これからの農業と地域の在り方について

問 農業にAI(人工知能)、IoT(遠隔管理)、ロボット技術革新を導入したスマート農業について市の展望を伺う。

部長 農業従事者の減少、高齢化が大きな問題になっている。国では、農業にAI(人工知能)、IoT(遠隔管理)やロボット技術革新等の導入、いわゆるスマート農業の普及を図り、農業従事者の負担軽減、省力化を推進している。富士宮市としては、国の補助事業である強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業を活用し、主にロボット技術等を農業に活用し、令和2年度若手農家2件の実施計画が採択された。1件目はハウスの温度・水・二酸化炭素などの環境を、全自動で適正化できる機械導入。2件目は散在化している農地への農薬散布用ド

ローンを導入し、作業の効率化を目指す計画。

問 新規就農者の申請と営農者育成について。

部長 認定新規就農者の場合、原則45歳未満であることが認定条件、しかし商工業など経営管理経験が3年以上ある人、特定の経験や知識が認められた場合は65歳未満まで認定される可能性がある。また、未経験で定年後にゆっくり学びたいという人もいることから、市民農園の利用や農業学習体験講座などを案内し、自分のペースで無理せず農業が始められるきっかけづくりに努めている。今後も地域性豊かで持続的な農業振興を図っていただくため、JA富士宮や県とも連携しながら担い手不足の解消、耕作放棄地対策に取り組んでいく。



▲ IoT(遠隔管理)による農業



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



こんどう ちづる
近藤 千鶴 議員
(令和)

新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、将来を見据えた事業等の見直しについて

問 令和2年度の市立病院への財政支出はどのくらいを想定しているか。

病院長 当初予算ベースでは14億円を予定。コロナの影響により収益が伸びないと予想。第2波、第3波等で減少の場合、追加支援も予測。

問 市立病院の人件費・材料費・薬品費の割合が高いがどう考えるか。

部長 材料費を見直す検討を始めたい。

問 市立病院の経営にコンサルタントをいれていったらどうか。

部長 コンサルタントをいれても、人件費を減らす等の一般的な回答（助言）しか得られない。

意見 コロナで病院を取り巻く環境が大きく変わる。発想の転換を考えていく時だ。



なかむら けんいち
中村 憲一 議員
(令和)

新型コロナウイルス感染症対策が変化をもたらした行政サービスの在り方について ～コロナ禍を変化のチャンスとするために～

問 車両による避難は憚られていたが、プライベートスペースが確保できる自家用車活用を前提とした避難所設置を提案するがいかがか。

部長 より手軽にプライベートスペースを確保でき、ワンボックスタイプの自家用車を多くの家庭で所有していることから有用と考える。今後、自家用車用の避難場として整備をする場合には、水、トイレ及び電源などの設備の整備の必要性の検討を行い、関係部局と調整したい。

問 保健所と感染情報の共有に課題はなかったか。誹謗中傷、風評被害等は把握しているか。

部長 国の基準に則り、個人情報保護に留意した上で感染リスクを最小限にするために必要な情

問 臨時交付金で、4月28日以降に生まれた子どもに、特別定額給付金に代わる祝い金を支給できないか。

部長 現在のたすき帖、出生記念樹などで対応。

問 バス会社、タクシー会社への補助金を。

部長 国の支援もあり、市として各方面での施策を実施するので補助金は考えていない。

問 第2波に備えての財政確保は。

部長 国の第2次補正予算分の交付金を活用。

問 コロナ禍で市税の減収、市立病院の財政危機、税金猶予、生活保護申請の増加などの中、（仮称）郷土史博物館構想は今はやるべきでないと思うが市長の見解は。

市長 予算を可決いただいている。見直しどころの騒ぎでなく、今後も信念を持って進めていく。

意見 市民の生活と命が一番大事。市民がコロナ禍の中で大変不安を持っている。市長の前向きな答弁を期待している。市民のことを一番に考え、この（仮称）郷土史博物館構想を見直すという市長の言葉が出たらよかったと思う。

報を公表しているので、課題はなかったと認識。SNS等での誹謗中傷、風評被害等は把握している。第2波、第3波に向けてこれらを防止するために、保健所とのやり取りの中で、許容範囲内で情報提供できる形があれば検討する。

問 今夏の水泳授業の取り扱いは。水泳授業の抜本的見直しのチャンスと考えるがいかがか。

教育長 児童生徒の濃厚接触対策を講じることが困難であることから、安全を確保することが難しいため、小・中学校において今年度は実施しない。今回の水泳授業の中止をよい機会として捉え、今後、水泳授業の実施の外部委託や市民プール、民間施設の活用等、水泳授業の抜本的な見直しについても研究していきたい。

問 コロナ前には戻れない中、コロナ後の富士宮のニューノーマルをどのように構想するか。

市長 デジタル化を柱に、官民に新しい可能性が見えてきた。このことは新たなチャレンジであり、人口減少や少子高齢化を抱える地方にとって、東京一極集中から地方へ人の流れを変えるチャンスであると捉えている。



さいとう かずふみ
齋藤 和文 議員
(公明会)

新型コロナウイルス感染症の対応と今後について

問 特別定額給付金の申請件数と給付状況は。

部長 7/3 現在、全世帯約5.7万世帯のうち、申請5万件、給付済3.1万件(約55%給付済)。

問 妊婦のPCR検査と費用負担については。

部長 国の第2次補正予算に妊産婦総合対策事業が組み込まれた。この中には、疑う症状が無くても不安を抱える妊婦がかかりつけ医と相談し、本人希望の場合、分娩前PCR検査を行う事業もある。費用負担は国が1回当たり2万円、県も補助を行う予定で自己負担は無いと想定。

問 唾液のPCR検査については。

部長 厚労省は唾液を用いた検査も可能と発表している。飛沫感染リスクが軽減する等メリットはあるが、唾液の一定量を採取するのに困難な場合も考えられるため、採用するか否かは富士宮市医

師会と協議中である。

問 子どもの予防接種の遅れによる対応について。

部長 昨年同時期の予防接種数と出生数を考慮すると、コロナにより遅れているとは言えない状況。今後も接種漏れや遅れがないよう対応。

問 アルコール消毒液の備蓄については。

部長 市立病院では3か月分(300ℓ)の備蓄を、市役所では2~3か月分(80ℓ)を確保している。

問 厚労省からアルコール消毒液の通達がでており、市内3酒蔵で製造された消毒液が市へ寄附、市内で販売されているが、災害を問わず物資協定的なものは結ぶ考えはあるのか。

部長 衛生管理上必要なものになってくる。協力が得られれば優先購入や寄附をお願いしたい。

問 令和2年度のみ子どもの予防接種が遅れた方への対応を、行政として補助できないか。

部長 予防接種の遅れは市としても重要なことだと捉えている。市が認めれば、予防接種に関しては適切に対応していきたいと考える。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(令和)

小・中学校の休業の手続について

問 3、4、5月の小・中学校の休業はどの会議で決定されたのか。その間、教育委員会は開催されたのか。議事録はあるのか。

部長 教育長と教育委員会事務局で協議して決定し、教育委員には電話等で報告した。教育委員会は3月及び5月は開催し、4月は開催せず書面で報告した。議事録はない。

問 静岡市ではコロナでの休業について専決処分とし、その後教育委員会で承認し議事録も公表されている。4月こそ教育委員会をオンラインで開催し、保護者・児童生徒・教職員様々の声を反映すべきではなかったのか。

部長 手続き的には問題ない。

意見 問題ないかもしれないが、これだけ重要なこと(学校の休業)が一方向的に決められ、発表さ

れるというのはいかなるものか。組織の意思決定として専決処分の導入を提案する。また、議事録についても現状は極めて簡易であるため詳細なものの公表を提案する。

新型コロナウイルス感染の情報提供について

問 市内の陽性者の情報について当初情報が錯綜し、デマが飛び交うこともあったが、今後についてはどうか。

部長 県の情報を超えることはできないが、もう少しかみ砕いた中で、わかりやすい情報提供の仕方を第2波、第3波に向けて研究したい。

移住定住促進とIT化について

問 ウィズコロナ、アフターコロナの時代は、地方移住や2拠点生活が増加する。その際、その自治体のIT化の進展度がポイントとなる。そこで、「スーパーシティ」構想への公募を提案するがいかがか。

部長 「スーパーシティ」については、民間事業者との連携や住民合意・個人情報取り扱い等課題があり、直ちにエントリーする予定はない。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

感染症対策の行方

問 富士宮アラートとも取れる市長の同報無線による広報を、より効果的にするためには。

- ①富士宮市に縁のある芸能人に頼めないか。
- ②小学校の輪番制により児童に頼めないか。
- ③市長はここ一番の時に限定できないか。

市長 市長の使命は市民の命と暮らしを守ること、今回のような重大事案には、有名人や小学生による放送は考えられない。ここ一番は今である。

意見 聞いてもらえない人にも聞いてもらうことに意義があり、対策を練ってほしい。

市長 聞くのが嫌なら耳栓をしたり、ラジオを止めておけば良い。聞いてくれる人や大切に思ってくれる人がいるので信念を持ってやっている。

意見 聞いてもらう事に重点を置いてほしい。

問 市立病院の知見協力によって、自己免疫を高

める方法などを市民に広報などできないか。

病院長 感染しても重症化しないために、バランスの良い食事、適度な運動や休養をしっかりとることが大切だと思うので、市の広報誌や市民対象の研修会等が可能ならば、できる限り協力していきたい。

部長 基本的な生活習慣は運動、栄養、睡眠を軸として、入浴やよく笑うことなどが挙げられる。今後も健康講座や各保健事業の中で感染予防や生活習慣について、周知啓発していく。

富士根地区の安全を考える

問 富士根北小前の交差点は、東西で高低差がありとても見えにくい、解決策はあるか。

部長 横断中の児童や、対向車が直前まで認識しづらく交通量も多い。今後も安全対策についての調査検討を行い、安全施設や路面標示、修繕などを行っていく。

問 富士見小東側計画道路進捗と対策について。

部長 都市計画道路整備プログラムで長期計画としているので、計画的な整備を行っていく。



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

星山浄化センターと衛生プラントの共同一元化について

問 共同一元化への課題は何か。

部長 ハード面の大きな課題は無い。ソフト面で下水道法、廃掃法、水質汚濁防止法等関係法令の整備、都市計画決定の変更、受益者負担の問題等課題は多いものの、今後関係機関と調整し検討を進めていく。

問 星山浄化センター、衛生プラントの年間処理費と処理単価はどれほどか。

部長 星山浄化センターの年間処理費は3億6106万6930円、年間の有収量は698万9265m³であるので、処理に要する人件費、薬品代、電気料などを要する1m³あたりの処理単価は51.7円。衛生プラントの年間処理費は1億3863万364円、年間の搬入量は4万7248m³となり処理

単価は2934円。

問 共同一元化が実現すると単純に1億円相当の経費削減効果があると考えられるのか。

部長 1億円という金額は難しい。今目標としているのは5000万円から6000万円を目標としている。処理の共同化は、今年の水道部の業績評価の共通目標であり、部の中で1番に解決すべきものだと思っている。

意見 今回の定例会では多くの議員が新型コロナウイルス感染症に関する質問をされていた。富士宮市も市民も大変な状況にあり、今後の見直しも大変厳しい。今回のように通常業務の見直しでこれだけの経費削減につながることは全力で取り組むべきものだと思う。課題も多いとのことであるが、富士宮市民のために頑張ってください。





えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(蒼天)

国連が提唱する「SDGs」の富士宮市における取組について

問 富士宮市は、令和元年を「SDGs元年」と位置づけ、その取組に着手した。その背景と現状について伺う。

部長 地方自治体が抱える諸課題に対して効果的にアプローチすることにより、様々な効果が期待できるとしてSDGsに取り組むメリットがあると考え着手した。現状としては、地域や学校などへの出前講座を実施した。

問 長期の政策目標（2030アジェンダ）としての富士宮市の達成すべきビジョン、活動目標、実行、進捗管理はどのようなものか。

部長 現在のところ、SDGsに取り組むための具体的な取組方針や活動目標は考えていない。

問 設定した指標の中で富士宮市アイデンティティを表現する独自の指標、あるいは目標はどのようなものか。

部長 各種計画にSDGsの視点を取り入れて、富士宮市の強みを伸ばし、弱みを改善していく。

問 富士宮市のアクションプログラム（総合計画、都市計画マスタープラン、環境基本計画等の各種計画）にSDGsの要素を反映し、進捗を管理するガバナンス手法を確立すべきだと思いがいかか。

部長 世界共通目標であるSDGs持続可能な開発目標、この視点を取り入れ、世界に誇れる国際文化都市を目指した計画とすることとする。

問 政府主導のSDGsアクションプラン2019の骨子「SDGsと連携するSociety5.0推進」をまち・ひと・しごと創生総合戦略の次期作成に組み込んでどうかと思いがいかか。

部長 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の中にも積極的に組み込んでいきたいと考えている。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

PCR検査体制の充実と保健所の体制強化を

問 医療、介護、保育、教育施設などで、新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、その関係職員を全員検査できる体制の整備についてどう考えるか。

部長 静岡県は県全体検査数を1日1000件まで高めるとしているがそれ以上の対応は難しい。

意見 県全体で1000件というのは、あまりにも少ない。第2波、第3波に向けて、いっそうの検査体制拡大を県に要望してもらいたい。

問 保健所の体制強化について、国に要望を上げるべきではないか。

市長 当初は保健所の相談センターへの電話がつながりにくかったが、その後の人員体制強化で、市との連携は十分にとれている。

新型コロナウイルス感染症対策としての生活支援について

問 家庭内暴力などの事情で世帯主から10万円の特別定額給付金を受け取れない市民に対して、何らかの対策を講じるべきではないか。

部長 世帯主が受給権者の制度だが、家庭内暴力など相談も受けている。今後国から求められれば、制度改善の意見を上げていく。

意見 「意見を求められたら」ではなく、現場の意見を積極的に上げていくべき。

問 緊急小口資金と住居確保給付金の申請件数はどのように増加しているか。

部長 緊急小口資金は令和元年度4件だったが令和2年度は6月末までで211件、住居確保給付金は令和元年度7件だったが令和2年度は6月末までで27件とそれぞれ急増している。

意見 緊急小口資金は「支給されるまで3週間かかる」と説明されたケースがある。市・県の相談窓口などの人員体制を抜本的に強化し、税金などの減免制度とともに、制度を市民に周知徹底する必要がある。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

学校での新型コロナウイルス対策について

問 休業期間中の学校一時預かりについて、保護者、教員の要望と意見は。

教育長 保護者からは、家庭での過ごし方や勉強の仕方等の問い合わせが多かった。学校からは、いかに密を避けるか、どのように消毒を行うかで困ったと聞いている。

問 学校給食の納入業者、調理員、配送員などへの対応は。

部長 3月分の発注済み食材はキャンセルし、できない物は学校給食センターで購入し支払い済み。長期保存できる物は6月以降給食で使用。主食は国の補助を活用する。調理員、配送員は従業員確保のため委託料の減額はしなかった。

意見 納入業者に聞き取りを行い、第2波、第3波に向け対策が取りやすいようにすべき。



さの あつし
佐野 孜 議員
(富岳会)

市発展の原動力を生み出す北部地域の活性化

問 ①自然林、人工林、湧水、河川の保全。

②畜産堆肥生産農家と有機栽培農家の連携。

③農家の担い手育成支援制度と対策。計画中のバイオマス発電施設の進捗状況。 ④富士登山中止と世界遺産等の見学方法の検討やこれから推奨する観光事業は。

部長 ①民有林1万8398haの内、天然林4245ha、人工林1万4153haで所有者が高齢化し、間伐や風倒木は未処理。森林整備補助事業を活用して作業道を整備し、負担を軽減した森林整備を計画。広葉樹との複合状態に誘導する。湧水と河川は、水質の保全や水生生物・植物の再生力と清掃や排水対策を検討中。 ②畜産堆肥の生産(家畜糞尿処理)は環境の保全とのバランス上、重要な課題。県の関連部署、各農協と連携。有機

ネット学習、オンライン学習の導入を

問 休業期間中にネット学習やオンライン学習を行った学校もあった。今後の導入予定は。

教育長 現時点では各家庭でのICT機器の整備が整っていないため、各家庭と学校間の実施は難しいが、ビデオ会議ソフトで学校と外部講師をつなぐことや校内の機器を活用してのオンライン授業などは検討が可能。

20人学級を子どもたちにプレゼントしよう

問 新型コロナウイルス感染症対策として日本教育学会は教員を増やす必要予算の提言を国に提出した。また、全国知事会・全国市長会・全国町村会は、少人数学級の実現を求める緊急提言を国に提出した。日本共産党の「1クラスの人数を20人に」との提言への見解は。

教育長 1クラスを20人にすれば教員が子ども1人に関わる時間が確保され、実態に応じた細やかな指導が可能。しかし、施設面や教員確保が課題。未来を生き抜く子どもたちを育成する学級人数、教員等の環境を整えることは重要。

農家認定し、畜産堆肥利用促進補助金を交付。
③農業の担い手育成機関は、磐田市の県立農林環境専門職大学と富岳館高校で専門的授業。研究機関は猪之頭の県畜産技術研究所を活用。バイオマス発電施設は業者と調整中。 ④世界遺産関連の案内所は全て開所し富士登山の理想形を検討。E-BIKEで地域活性化の検証。

市長 地下水と家畜糞尿の処理は未来永劫の一大事業と捉え、官民で知恵を出し解決予定。

防疫対策が施された教育環境下での教育方針

問 ①諸課題を考慮した授業日数確保の理念。

②教育委員会の学校訪問の視点。 ③給食に対する配慮事項。

教育長 ①205日の予定が4、5月の休業で31日が不足。夏期休業は9日間。休業要請への対応と学校行事が実施可能な195日を確保。 ②教育委員会主催の学校訪問は中止。 ③校内の給食は、防疫対策をした上で工夫をして楽しく。

部長 給食センター従事者は常に厳しく健康管理を行い業務従事。確実に安全な給食を提供。

今後の定例会の開催日程 午後の一般質問は、
13:20から始めます。

【9月定例会】9月10日(木)～10月9日(金)を予定
【11月定例会】11月20日(金)～12月9日(水)を予定

定例会以外に、議会運営、総務文教、環境厚生、産業都市、議会だより編集の各委員会及び全員協議会が随時開催されております。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。
TEL 0544-22-1191

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に
郵便→〒418-8601
富士宮市弓沢町 150 番地
メー ル→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』でみよう！



本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。

右のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

富士宮市議会

検索



おわびと訂正

前号(417号)の議会だより18項(一般質問)の鈴木弘議員所属会派を「政経会」とすべきところを誤って「富岳会」と掲載しておりました。おわびし、訂正いたします。

市議会議員10年表彰

鈴木 弘 議員

議員在職10年を迎えました、鈴木弘議員に、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰状が贈呈されました。



全国市議会議長会評議員感謝状

佐野 寿夫 議員

全国市議会議長会評議員の任期満了に伴い、同会から感謝状が贈呈されました。



左から、近藤千鶴委員、松永孝男委員、
○細沢覚副委員長、◎若林志津子委員長、
野本貴之委員、稲葉晃司委員、齋藤和文委員

新型コロナウイルス感染症により、人との距離やものにあふれた豊かな暮らしを見直すなくてはならないこの頃です。

さて、議会だよりは「親しみやすく、分かりやすく」と何度にもわたる改善を進めています。議会だよりは市政をチェックし、市民の暮らしをより良くと思う議員の活動を形にしたものです。是非お読みいただきご意見をお寄せください。

議会だより編集委員会委員長 若林 志津子

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりはフルカラー印刷から2色刷り印刷(表紙・裏表紙のみカラー)に変更されています。



笑顔のために

NO.418 令和2年9月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

T 418-8601 富士宮市弓沢町 150 番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp